

## AWC2019に参加して(ポスター賞受賞)

東芝エネルギーシステムズ(株) 原 宇広

2019年9月24～27日に韓国・ソウルで開催された Symposium on Water Chemistry and Corrosion in Nuclear Power Plants in Asia 2019 (AWC 2019)に参加してきました。AWC2019はソウル、東大門近くの Grand Ambassador Seoul Associated with Pullman を会場に、アジア諸国を中心に10ヶ国、総勢165名が参加し、水化学に関する研究成果や最新の知見について議論が行われました。ソウルの市街地は隣国ということもあり、標識等の韓国語がなければ海外に来たのかわからなくなるほど日本と似た街並みでした。

国際会議への参加は今回が初となりますが、運転プラントのデータや新型炉建設に向けた情報等、国内ではなかなか得ることが出来ない情報を得られたことは大変有意義でした。また、国内の学会と比べて若い参加者が多く、同年代の研究者と交流する機会にも恵まれたこともよい経験となりました。

今回筆者はポスターセッションへ参加し、BWRの予防保全技術である酸化チタン注入と貴金属注入の併用可能性について研究した成果を発表しました。開催国が韓国ということで参加者の大半がPWRの研究者だったため、BWRの技術を知らない人にも研究内容を理解してもらえるよう慣れない英語に悪戦苦闘しながらも努めた結果、Best Poster Awardを頂くことができました。英語に自信がないこともあり、初めて見る方にもわかりやすいよう要点をなるべく図表で載せたことが功を奏したのかもしれませんが。本賞を頂けたことは大変嬉しく、今後の研究の励みになりました。

余談となりますが、韓国滞在中は韓国料理にも挑戦しました。韓国料理は日本人の口に合うのか非常に美味しかったのですが、その真っ赤な見た目に違わずどれも大変辛かったため、胃腸の弱い方には注意が必要です。

震災以降、日本の原子力産業は依然として厳しい局面が続っていますが、世界中で多くの研究者がプラントの新設や再稼働、安全性向上に向けて日夜研究に取り組んでいることを目の当たりにしたことで、改めて日々の業務に邁進していこうと思いました。

